

受付	個人質問	第号
	令和年月日	時分

## 一般質問＜個人＞発言通告書

令和8年2月9日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 田崎あきひさ

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p><b>佐藤市長の取り組むまちづくりと施政方針について</b></p> <p>「見える」「届く」「変わる」を掲げて当選した佐藤市長へ、まちづくりビジョンの考えと施政方針等を問う。</p> <p>(1) 恒常的財源不足への対策とロードマップについて令和8年度予算編成にあたり約4億円の財源を捻出したと説明しているが、その後の見通しとして、令和9年度は約3億1,000万円の歳出超過、令和10年度は約5億5,000万円の歳出超過、令和11年度は約7億3,000万円の歳出超過が生じると佐藤市長は答弁している。前議会では「具体的な方策は掲げていない」と答弁したが、これらの恒常的な財源不足に対し、いつまでに、どの指標をもって、どのような手段で財政基盤を立て直す考えなのか。佐藤市長のマネジメント責任を問う。</p> <p>(2) 「誰が首長でも同じような状況に直面する」旨の答弁をしているが、佐藤市長ができる独自の対策をどのように考えているか。</p> <p>(3) 事業総点検に続く取組について「具体的な方策は掲げていない」「引き続き歳出削減など行政改革に取り組む」と答弁しているが、令和9年度予算、10年度予算に向けて、具体的に義務的経費・投資的経費を含め、どの分野・どの事業を対象に、どの程度の歳出削減を想定しているのか。</p> <p>(4) 中期財政計画および長期財政計画について、佐藤市長自ら「実態に合わなくなってきた」と認めている</p>	

	<p>が、令和8年度当初予算は、どの計画を前提として編成されたのか。また、計画を見直す時期と手順をどのように考えているのか。</p> <p>(5) 公共施設の総合管理計画について、修繕に必要な予算が確保できず、総額の予算不足額も把握できていないとしているが、佐藤市長は同計画を継続する考えか。</p> <p>(6) 佐藤市長は、不交付団体のデメリットについて国へ要望したが、1年を経てどのような成果を出したか。</p>	
2	<p><b>佐藤市長の公約実現性と市政の信頼性について</b></p> <p>公約実現に向けた進捗と市民生活に直結する施策を問う。</p> <p>(1) 令和8年度の新規施策、また佐藤市長の公約全体の進捗状況と、令和8年度末で未達となる見込みの公約数、その理由はそれぞれなぜなのか。</p> <p>(2) 「本市の生産年齢人口がピークを迎えると言われる令和7年はもうすぐです。」としていたが、推計は実態と乖離していないか。</p> <p>(3) 令和8年度の保育園の待機児童並びに育休退園はどのような見込みか。</p> <p>(4) ふるさと納税の流出超過が年々増加しており、収支改善策の必要性を市長も自覚していると思うが、令和8年度どの程度の改善目標が佐藤市長にはあるのか。</p> <p>(5) 国の給食費無償化の制度により、本市と保護者の支出はどのように変わるか。</p> <p>(6) N-バス75歳以上の運賃無償化について、運行に係る負担は増えるが、既存の高齢者外出促進に係る事業の一定の整理を図ったうえで実施することとした。令和8年度、既存の高齢者外出促進に係る事業の削減をしたのか。</p>	
3	<p><b>市民の生活基盤の整備について</b></p> <p>大学連携、スポーツ施設、教育環境、防災対策など生活基盤整備を問う。</p> <p>(1) 大学等との連携・交流拠点を設置することについては、大学との協議を進めていくとしているが、令和8年度はどうすると考えているのか。</p> <p>(2) 杵ヶ池体育館大規模改修中の学校開放強化について具体的にどのように実施するか。</p> <p>(3) ながくてクラブ（部活動地域展開）の諸問題の解決の</p>	

	<p>ため、本市中学校におけるテスト期間の統一を求めた。 テスト期間の統一は令和8年度から実施するか。</p> <p>(4) 応急給水拠点について、市内には6か所（各小学校） しかなく、中部水道企業団管内の他自治体は9～13か 所ある。避難所によっては応急給水拠点が無い。充実す るよう求めているが、令和8年度どのようにする考え か。</p>	
--	---	--